

- ・年会費による会員制度を設け、利用料金サービス等の特典を設ける。
 - ・必要最小限の建物補修と太陽光等の自然エネルギー、LED照明、ペレットボイラー採用の可否について検討を行う。
 - ・地産地消を基本とし、農畜産物・果物・乳製品・魚介類などのレストランでの食材使用、店頭での販売を行う。山菜・薬膳料理・薬草・季節の料理等の提供。
- 四季に応じた地域イベントを開催する。
- 春季：桜祭り、山菜採りと料理教室、山野草展、大山北麓写真展
 - 夏季：野外コンサート、新茶まつり、バーベキュー祭
 - 秋季：ウォーキング大会（山香荘を始終点とするコース）、収穫祭（食の祭典）
 - 冬季：雪合戦大会、そば打ち、昔遊び体験等
- ・記念植樹
 - ・スポーツ合宿は継続して行い、音楽合宿など文化的合宿についても検討する。その場合、山香荘の各種事業に支障が出ないように調整を行う。

(3) 当面の経営目標

指定管理後、大山町からの繰入ゼロを目指す。

大山町民のマイタウン意識の高揚による利用促進。全国からの集客拡大による収入増。

人件費（きめ細かな波動対応人員配置・・食堂は調理師1名とパート従業員対応）

電灯光熱費等の節減（LED電球交換等）、食材等の仕入経費の抑制（販売額の30%以内目標）。

山香荘及び建物周辺の清掃・除草など、環境整備のためのボランティア対応。

4. 周辺施設の整備

- ・既設グラウンド、テニスコート、屋外広場、遊戯施設等は必要な範囲で整備する。
- ・施設整備にあたり、名和スポーツランドとの競技による競合を避ける。
- ・芝管理や除草は大山町民の有償ボランティアにより対応する。

5. 周辺地域の活性化

(1) 行政とエリア内事業者との連携による事業

①循環型農業プロジェクトの展開

循環型農業、減・無農薬、減・無化学肥料の環境に配慮した農業をこのエリアから取り組めるよう、既存農家と共に、学習・実践のためのプロジェクトを立ち上げる。

②農業体験と交流の場作り

農業に関心のある人を受け入れ、体験の場を提供する。

(2) エリア内事業者による事業

- ・観光農園、牧場体験、竹林散策、オオサンショウウオ観察会、山菜採り、一坪農園、ホームステイなど、活性化のための取り組みを行う。
- ・「大山恵みの里公社」との連携を図り、農畜産物の販売拡大に努める。

6. 行政機関等の協力支援

道路管理者により、大名道路の早期開通、神田陣構エリア周辺道路及び標識の整備などのインフラ整備を行う。

大山町は山香荘及び周辺エリアの活性化のために、指定管理者との連携に努めるとともに、インターネット、パンフレットの活用等、町内観光地との相互広域宣伝強化などの支援を行う。

付記

提言を決定するにあたり、少数意見として次の案が提案されましたので、付記します。

- 既設グラウンドの整備は、天然芝と人工芝を敷設し、サッカー、グラウンドゴルフなど、地域の大会や練習が可能で、多目的に使用可能な施設とする。
- 公式戦可能な広さのサッカーグラウンドを最低2面整備し、グラウンドゴルフなど、地域の大会や練習が可能で、多目的に使用可能な施設とする。